

クボタ空調株式会社 栃木工場

1. 事業概要

住所	〒321-0905 栃木県宇都宮市平出工業団地 28-1
従業員数 (協力会社)	271 {H28(2016).4.1現在}
敷地面積	32,357 m ²
事業内容	当工場は、大型(セントラル式)空調機器・ヒートポンプ空調機器の設計・開発及び製造をしている工場です。 またクボタグループの課題であるTPP対策等の国内農業市場では、大規模園芸市場での空調機にも算入を果たしました。



主要製品

空調機器



ユニット型空気調和機



コンパクト型空気調和機



デシカント空調機



工場向けエリア空調機



農業用HP空調機(ぐっぴーバズーカ)

工場変遷(沿革)

1970	久保田鉄工(株)と米国トレン社との合弁会社としてクボタトレン(株)を設立
1971	栃木工場完工し、稼働開始
1980	久保田鉄工(株)(現(株)クボタ)の完全子会社化(出資比率100%)
1994	研究施設「テクニカルセンター」新設
1998	社名を「クボタ空調株式会社」へ変更
2000	ISO9001取得
2004	ISO14001取得

クボタ空調株式会社 栃木工場

2.環境方針

ISO環境方針

基本方針

当社は、空調機器の開発・設計・製造・出荷・サービスの全てのプロセスを通じ、ますます深刻化する地球環境問題などに対し、「地球規模で持続的な発展が可能な社会」「企業と市民が相互信頼の基に共存する社会」の実現をめざします。環境に配慮した企業活動・製品・技術・サービスの提供を通じて、地球環境・地球社会の保全に貢献し、快適な環境の実現を当社の使命として取り組んでゆきます。

実施事項

1. 当社の開発・生産活動及び製品、サービスに関連する環境側面を把握し、適切な環境マネジメントシステムを構築することにより、継続的な改善に努めます。
2. 当社の開発・生産活動及び製品、サービスの環境側面に関連する法的要求事項、及び当社が同意するその他の要求事項の遵守に努めます。
3. 当社は環境影響の軽減を図る目標を定め、その達成に努めます。

重点実施事項は次の通りとします。

- (1) 省資源、省エネルギー活動の推進
 - (2) 廃棄物のリサイクルと削減活動の推進
 - (3) 有害化学物質の代替化、又は削減活動の推進
 - (4) 環境に配慮した物品の使用及び製品の開発・設計の推進
4. 地域の環境美化・環境啓発活動に積極的に参画し、地域社会との共生に取り組みます。
 5. この環境方針は文書化し、全従業員に周知徹底致します。
 6. この環境方針は、社会への責任を示すために、一般の人の求めに応じて入手可能なものとします。

2016年 1月 8日

クボタ空調株式会社

代表取締役社長 岡野 政治郎

ISO認証取得状況

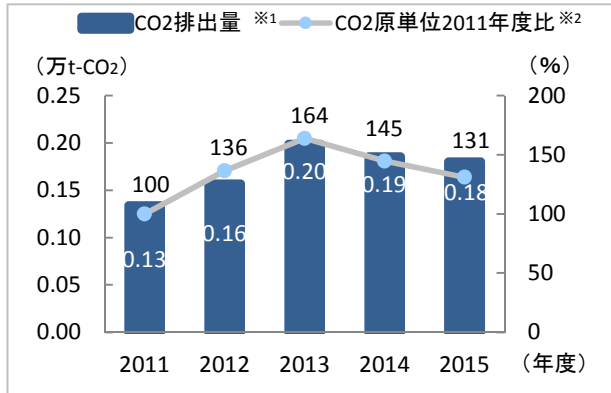
1	2004	ISO14001	: 1996年版	認証取得
2	2005	ISO14001	: 2004年版	定期審査/移行審査
3	2007	ISO14001	: 2004年版	更新審査終了
4	2010	ISO14001	: 2004年版	更新審査終了
5	2013	ISO14001	: 2004年版	更新審査終了
6	2016	ISO14001	: 2004年版	更新審査終了
7	2017	ISO14001	: 2015年版	2015年版移行予定

クボタ空調株式会社 栃木工場

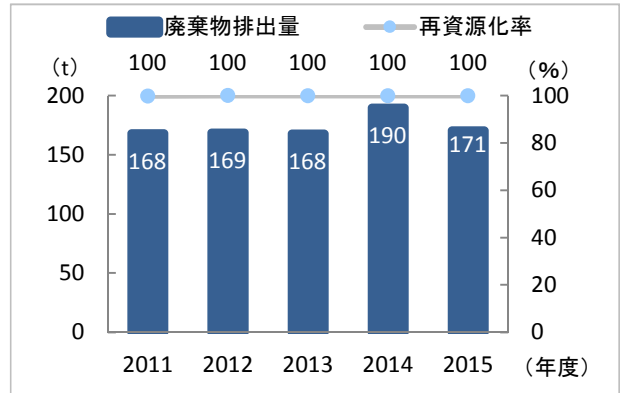
3.環境パフォーマンス

(1)主要な環境指標の推移

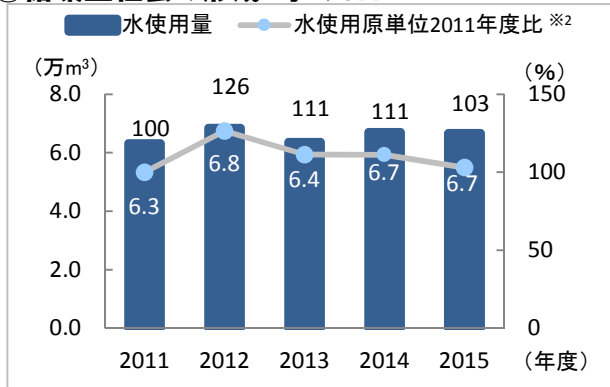
①地球温暖化の防止



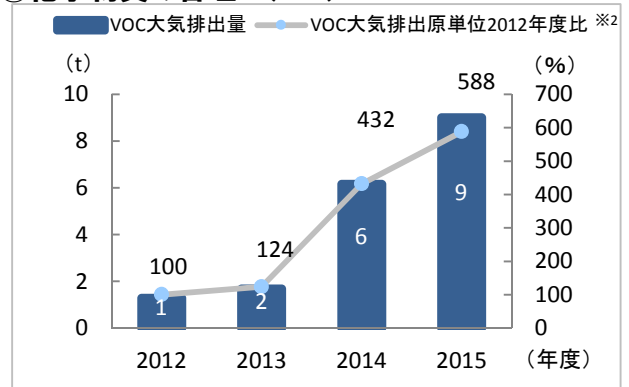
②循環型社会の形成-廃棄物の3R



③循環型社会の形成-水の3R



④化学物質の管理 (※4)



※1 CO2排出量はエネルギー起源のCO2排出量です。エネルギー起源CO2の算定において、電気の排出係数は各年度の値を使用します。

※2 2011年度(または2012年度)における内作生産金額あたりの排出量(または使用量)を100とした場合の指数

※3 報告対象期間は、各年4月1日から翌年3月31日です。

※4 2014年より、製品品質向上を図り、塗料変更・膜厚UPにより品質向上の成果(製品の長寿命化)をあげ、高耐久性を実現しました。

(2)PRTR法対象物質集計結果(2015年度)

単位: kg/年

政令 No.	物質名称	排出量				移動量	
		大気	公共用水域	土壌	自社埋立	下水道	場外移動
53	エチルベンゼン	2,124	0.0	0.0	0.0	0.0	236
71	塩化第二鉄	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
80	キシレン	5,194	0.0	0.0	0.0	0.0	577
300	トルエン	1,685	0.0	0.0	0.0	0.0	768
448	メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※ 届出対象(拠点ごとの年間取扱量が1t(特定第1種は0.5t)以上)の化学物質について集計

クボタ空調株式会社 栃木工場

4. サイトデータ

INPUT

エネルギー使用量	原油換算 KL	911
水使用量	万m ³	6.7

OUTPUT

CO ₂ 排出量	t-CO ₂	1,804
---------------------	-------------------	-------

排出ガス	主要ばい煙発生施設		電着小型ボイラー			電着乾燥炉		
	項目	単位	規制内容	規制値	測定値	規制内容	規制値	測定値
SOx	総量規制・K値規制 ともにm ³ N/h		K値規制	0.76	0	K値規制	0.64	0
NOx	総量規制:m ³ N/h, 濃度規制:ppm		濃度規制	—	46.5	濃度規制	230	5未満
ばいじん	g/m ³ N		濃度規制	—	0.006未満	濃度規制	0.2	0.005未満

排水量	公共用水域 万m ³	6.7	
	下水道 万m ³	—	
汚濁負荷量	COD	kg/年	—
	窒素	kg/年	—
	りん	kg/年	—

排水	放流先	項目	単位	排水口名			
				規制値	測定値		
公共用水域		pH	最小値, 最大値	5.8~8.6	7.4, 7.5		
		BOD	mg/ℓ	20	10		
		COD	mg/ℓ	—	—		
		窒素	mg/ℓ	—	—		
		りん	mg/ℓ	—	—		
		六価クロム	mg/ℓ	0.1	ND		
		鉛	mg/ℓ	0.1	ND		
		COD総量規制値	kg/日	—	—		
		窒素総量規制値	kg/日	—	—		
		りん総量規制値	kg/日	—	—		
		下水道		pH	最小値, 最大値	—	—
				BOD	mg/ℓ	—	—
COD	mg/ℓ			—	—		
SS	mg/ℓ			—	—		

廃棄物排出量	t	171
再資源化率	%	99.9%

VOC排出量	t	9
--------	---	---

5.環境トピックス

1)“CO2 排出原単位”の削減

生産高として2012年度対比で 2015年度は+19.7%と増加する中、工場内の生産工程の生産性アップを環境目標に掲げ、ラインアウトの見直しやムダ取り活動等を行いました。このような取り組みの結果、「CO2 排出原単位」は2015年度では、2012年度比で▲9.6%の大幅な削減を達成しました。

2)多能工化及び技術伝承のシステム構築活動から、‘内部ロス, 低減活動へ

未経験者に銅管ろう付け作業、CO2半自動溶接技術教育等の技術・技能教育を計画し実施してきました。未経験者への教育に当たっては、これまでの手順や手法の再確認や検証を経験者間で実施し、経験者間の個人的な感覚だけではなく、理論的に裏付けされた情報を基に実施しています。これらの活動を通じて、確実に‘内部ロス, の低減に寄与しながら、省資源・省エネルギー活動の推進に努めています。

6.環境コミュニケーション

地域美化活動

名称 工場周辺の清掃活動
日付 2016/5/27(1回/月)
参加人数 30名



教育への支援

名称 緊急事態想定訓練
日付 2016年7月7日
参加人数 10名

